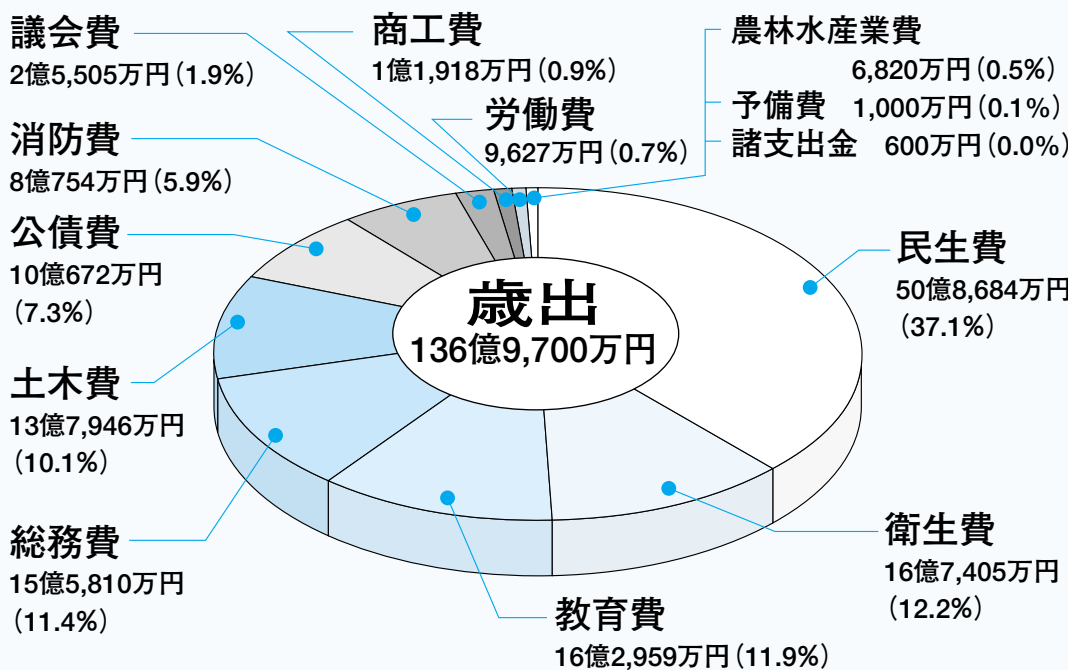
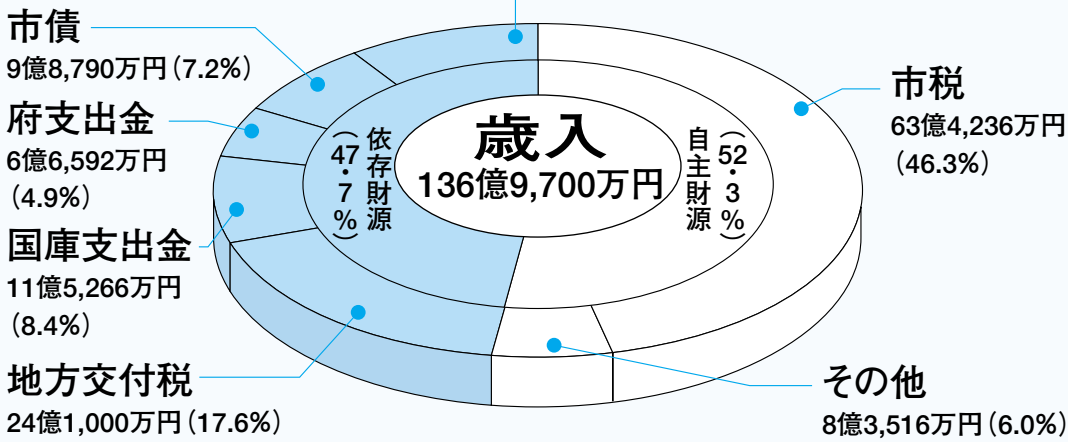


平成18年度 当初予算

平成18年度当初予算が、3月定例会市議会で可決されました。
「共有、共鳴、そして共生のまちづくり」を基本的な考えとし、行政課題の計画的な推進と市民サービスを低下させないよう、市民と協働によるまちづくり事業、安心・安全のための事業、遅れている都市基盤整備事業などに対して重点配分しました。
また、市民生活に直結し、時代の要請に応えるための緊急性の高い事業を最優先に盛り込みました。

平成18年度一般会計当初予算【歳入歳出構成図】

- 地方譲与税 5億100万円 (3.7%)
- 利子割交付金 3,500万円 (0.3%)
- 配当割交付金 2,300万円 (0.2%)
- 株式等譲渡所得割交付金 1,700万円 (0.1%)
- 地方消費税交付金 4億4,500万円 (3.2%)
- 自動車取得税交付金 8,200万円 (0.6%)
- 地方特例交付金 1億8,700万円 (1.4%)
- 交通安全対策特別交付金 1,300万円 (0.1%)



会計区分	予算額	前年度比
一般会計	136億9,700万円	-3.5%
特別会計	国民健康保険事業	42億4,804万5千円 2.2%
	老人保健医療	40億5,763万円 14.2%
	介護保険事業	24億4,257万9千円 15.9%
	下水道事業	24億2,660万円 -2.0%
	大字寺戸財産区	317万9千円 0%
	物集女財産区	348万4千円 -0.1%
水道事業会計	19億6,670万円(税込)	-0.2%
合計	288億4,521万7千円	1.4%

市民の皆様と協働によるまちづくり

市民一人当たりの支出

民生費 9万2,421円

市民生活の安定と児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉などのための経費



衛生費 3万415円

生活習慣病予防や予防接種など健康対策、環境対策、ごみの収集など、市民の衛生的な生活を確保するための経費



教育費 2万9,607円

児童生徒の教育環境の向上や学校施設の管理など学校教育のための経費、生涯学習の推進や文化施設の運営など社会教育のための経費



総務費 2万8,309円

市が所有する土地や建物など財産の維持管理、職員の給与、広報、統計、選挙、国際交流、女性政策などの経費

土木費 2万5,063円

道路、公園などの整備・管理、都市計画などまちづくりのための経費

公債費 1万8,291円

市債(市の借金)の元金と利子の返済のための経費

消防費 1万4,672円

防災や消防、救急業務のための経費



議会費 4,634円

議会の活動のための経費

商工費 2,165円

中小企業の育成などの商工や観光の振興のための経費

労働費 1,749円

勤労者住宅資金融資など勤労者を支援するための経費

農林水産業費 1,239円

農業の振興などのための経費